

たか丸 新たな挑戦

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-07-01
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 高木, 儀昌
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2009407

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



たか丸 新たな挑戦

水産土木工学部

研究の背景・目的

1. たか丸が持つ潜在能力の発掘と業務の拡大
2. 海藻の着生基質、有用生物の生息場・育成場となる多目的な藻礁の開発

業務の内容・成果

1. たか丸には、小型クレーンやトロール用ウインチが装備されており、通常調査業務に使用されている。今回は、これらの機材を使用して、藻場調査用コンクリート製試験ブロックの設置を試みた。
2. 千葉県館山湾内のクロメ、ホンダワラ類の海藻の着生する海域に、縦・横1m、重さ500kg、の間伐材利用ブロックの設置作業を行い、無事に設置作業を完了した。

波及効果

資源管理や漁業規制により、大型のトロール漁船が休漁や廃船になることがあるが、それら漁船が有する機材を水産公共事業などで有効に利用することができる。

平成20年1月になって、アラメ、クロメ、オオバモクなどが着生し、徐々に藻礁と言えるようになってきた。



ブロックの積み込み

設置準備

設置作業中



海底設置状況

ブロックに着生したホンダワラ類
(漁場施設研究室・高木儀昌)